

平成30年人口動態統計（概数）

秋田県の概況

目 次		頁
調査結果の概況		1
第1表 人口動態指標の状況		2
第2表 主な死因別死亡数等の状況		2
第3表 人口動態指標の年次推移		3
第4表 人口動態指標の各都道府県の状況		4
第5表 主な死因別死亡率の各都道府県の状況		5
第6表の1 東北6県の状況（人口動態指標）		6
第6表の2 東北6県の状況（三大死因及び自殺による死亡）		6
(参考)		
人口動態調査とは		7

(調査期間：平成30年1月1日～平成30年12月31日)

※掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合があります。

秋田県健康福祉部健康づくり推進課

問合せ先：調整・健康寿命延伸班

電 話：018-860-1426

調査結果の概況

1 出生

- ・出生数は、5,040人で昨年の5,396人より356人の減少。
- ・出生率は、人口千対5.2で昨年の5.4より0.2ポイント減少。
〔全国は7.4 全国順位47位（平成7年以来、24年連続）〕
- ・1人の女性が一生に産む子供の数を表す合計特殊出生率は、1.33で昨年の1.35より0.02ポイントの減少。
〔全国は1.42 全国順位42位（昨年40位）〕

2 死亡

- ・死亡者数は、15,431人で昨年の15,425人より6人の増加。
- ・死亡率は、人口千対15.8で昨年の15.5より0.3ポイントの増加。
〔全国は11.0 全国順位1位（7年連続）〕

(1) がん（悪性新生物＜腫瘍＞）

- ・死亡者数は、4,147人で昨年の4,099人より48人の増加。
- ・死亡率は、人口10万対424.0で昨年の413.2より10.8ポイントの増加。
〔全国は300.7 全国順位1位（平成9年以来、22年連続）〕

(2) 心疾患

- ・死亡者数は、2,091人で昨年の2,086人より5人の増加。
- ・死亡率は、人口10万対213.8で昨年の210.3より3.5ポイントの増加。
〔全国は167.6 全国順位11位（昨年10位）〕

(3) 脳血管疾患

- ・死亡者数は、1,541人で昨年の1,615人より74人の減少。
- ・死亡率は、人口10万対157.6で昨年の162.8より5.2ポイントの減少。
〔全国は87.1 全国順位2位（昨年1位）〕

(4) 自殺

- ・死亡者数は、199人で昨年の242人より43人の減少。
- ・死亡率は、人口10万対20.3で昨年の24.4より4.1ポイントの減少。
〔全国は16.1 全国順位4位（昨年1位）〕

(5) 血管性及び詳細不明の認知症

- ・死亡者数は、310人で昨年の302人より8人の増加
- ・死亡率は、人口10万対31.7で昨年の30.4より1.3ポイントの増加。
〔全国は16.5 全国順位は2位（昨年1位）〕

3 乳児（生後1年未満）死亡

- ・死亡者数は、13人で昨年の18人より5人の減少。
- ・死亡率は、出生千対2.6で昨年の3.3より0.7ポイントの減少。
〔全国は1.9 全国順位2位（昨年2位）〕

4 周産期死亡

- ・死亡者数は、23人で昨年の22人より1人の増加。
- ・死亡率は、出産千対4.5で昨年の4.1より0.4ポイントの増加。
〔全国は3.3 全国順位3位（昨年8位）〕

5 自然増減

- ・出生数から死亡数を減じた自然増減数は△10,391人。昨年の△10,029人より更に362人の減少。
- ・自然増減率は、人口千対△10.6で昨年の△10.1より更に0.5ポイントの減少。
〔全国は△3.6 全国順位47位（7年連続）〕

6 婚姻

- ・婚姻数は、3,052組で昨年の3,311組より259組の減少。
- ・婚姻率は、人口千対3.1で昨年の3.3より0.2ポイントの減少。
〔全国は4.7 全国順位47位（平成12年以来、19年連続）〕

7 離婚

- ・離婚数は、1,246組で昨年の1,366組より120組の減少。
- ・離婚率は、人口千対1.27で昨年の1.38より0.11ポイントの減少。
〔全国は1.68 全国順位46位（昨年43位）〕

人口動態指標の状況

第1表

(平成30年)

区 分	実 数			率					全国(率) (平成30年)	
	30年	29年	増 減 (30年-29年)	30年	本県の 全国順位	29年	本県の 全国順位	増 減 (30年-29年)		
出 生	5,040	5,396	△ 356	5.2	47	5.4	47	△ 0.2	7.4	
死 亡	15,431	15,425	6	15.8	1	15.5	1	0.3	11.0	
自然増減	△ 10,391	△ 10,029	△ 362	△ 10.6	47	△ 10.1	47	△ 0.5	△ 3.6	
乳児死亡	13	18	△ 5	2.6	2	3.3	2	△ 0.7	1.9	
新生児死亡	9	12	△ 3	1.8	1	2.2	1	△ 0.4	0.9	
死 産	総計	115	108	7	22.3	9	19.6	34	2.7	20.9
	自然	71	64	7	13.8	1	11.6	7	2.2	9.9
	人工	44	44	0	8.5	44	8.0	45	0.5	11.0
周産期死亡	23	22	1	4.5	3	4.1	8	0.4	3.3	
婚 姻	3,052	3,311	△ 259	3.1	47	3.3	47	△ 0.2	4.7	
離 婚	1,246	1,366	△ 120	1.27	46	1.38	43	△ 0.11	1.68	
合計特殊出生率				1.33	42	1.35	40	△ 0.02	1.42	

(注) 率の算出は、乳児、新生児の死亡率は出生千対、周産期の死亡率は出産(出生+妊娠22週以後の死産)千対。

死産率は出産(出生+死産)千対。その他は人口千対。

主な死因別死亡数等の状況

第2表

(平成30年)

死 因	死亡数			率					全国(率) (平成30年)
	30年	29年	増 減 (30年-29年)	30年	本県の 全国順位	29年	本県の 全国順位	増 減 (30年-29年)	
悪性新生物<腫瘍>	4,147	4,099	48	424.0	1	413.2	1	10.8	300.7
心疾患<高血圧症を除く>	2,091	2,086	5	213.8	11	210.3	10	3.5	167.6
脳血管疾患	1,541	1,615	△ 74	157.6	2	162.8	1	△ 5.2	87.1
老衰	1,272	1,250	22	130.1	10	126.0	8	4.1	88.2
肺炎	1,075	1,144	△ 69	109.9	4	115.3	6	△ 5.4	76.2
不慮の事故	531	472	59	54.3	1	47.6	4	6.7	33.2
誤嚥性肺炎	421	382	39	43.0	9	38.5	11	4.5	31.0
腎不全	332	273	59	33.9	2	27.5	12	6.4	21.0
血管性及び 詳細不明の認知症	310	302	8	31.7	2	30.4	1	1.3	16.5
自殺	199	242	△ 43	20.3	4	24.4	1	△ 4.1	16.1

(注) 死亡率は人口10万対。

※ 29年実数及び率は、平成30年9月公表「平成29年人口動態統計(確定数)」値

人口動態指標の年次推移

第3表

(平成30年)

年次	出生率	死亡率	自然増減率	乳児死亡率	新生児死亡率	死産率 (出産千対)	周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率	離婚率	合計 特殊 出生率
	(人口千対)			(出生千対)				(人口千対)		
昭和22年	38.0	15.9	22.1	97.0		44.7		13.1	1.69	
30年	22.5	8.4	14.1	53.4	27.6	89.1	44.5	7.9	0.87	2.75
35年	17.6	7.7	9.9	36.5	19.2	104.1	38.5	8.7	0.81	2.09
40年	15.5	7.7	7.8	23.4	15.0	93.1	32.5	7.5	0.78	2.03
45年	14.3	7.7	6.6	15.9	10.6	77.7	21.1	7.7	0.83	1.88
47年	14.5	7.4	7.1	12.3	8.6	67.4	17.0	8.1	0.89	
48年	14.7	7.8	6.9	14.5	11.0	61.0	17.6	7.9	0.89	
49年	14.6	7.8	6.7	13.7	9.7	62.7	17.2	7.7	0.87	2.01
50年	14.2	7.4	6.8	11.7	8.5	57.0	16.9	7.7	0.96	1.86
51年	14.4	7.4	7.0	9.9	7.4	53.3	15.0	7.1	1.03	1.88
52年	13.8	7.2	6.6	10.1	7.2	50.4	13.8	6.8	0.95	1.83
53年	13.8	7.3	6.5	9.8	7.2	45.8	14.0	6.6	0.95	1.84
54年	13.5	7.0	6.5	7.3	4.6	46.2	11.0	6.4	1.05	1.83
55年	13.0	7.4	5.6	7.9	5.1	44.7	9.9	6.2	1.05	1.79
56年	12.2	7.1	5.1	6.7	4.5	50.7	10.0	6.1	1.14	1.72
57年	12.1	7.2	5.0	5.4	3.6	48.7	9.1	6.0	1.17	1.74
58年	11.9	7.5	4.4	5.9	4.1	47.5	9.4	5.8	1.29	1.76
59年	11.9	7.5	4.4	6.3	3.7	44.5	8.5	5.5	1.23	1.82
60年	10.9	7.5	3.4	5.7	3.7	44.5	5.9	5.3	1.16	1.69
61年	10.6	7.6	3.0	6.0	4.2	47.8	8.6	5.0	1.09	1.69
62年	10.3	7.7	2.6	5.4	3.5	46.3	8.0	4.9	1.06	1.68
63年	9.8	8.3	1.5	5.8	3.6	45.0	6.5	4.8	1.00	1.63
平成元年	9.4	7.9	1.5	4.5	3.0	42.8	5.1	4.8	1.05	1.61
2年	9.0	8.2	0.8	5.1	3.4	44.2	6.3	4.6	1.02	1.57
3年	8.8	8.4	0.4	4.8	2.8	44.6	5.1	4.8	1.05	1.61
4年	8.8	8.7	0.1	4.5	2.3	42.1	5.4	4.8	1.13	1.62
5年	8.5	8.9	-0.4	4.8	3.1	44.9	6.5	4.9	1.17	1.56
6年	8.9	9.1	△ 0.2	3.7	2.7	36.8	5.4	4.9	1.21	1.66
7年	8.2	9.0	△ 0.8	4.8	2.2	39.4	8.2	4.9	1.22	1.56
8年	8.1	9.2	△ 1.1	3.4	2.2	35.7	6.8	4.8	1.22	1.52
9年	8.0	9.6	△ 1.5	2.6	1.3	36.6	6.5	4.6	1.42	1.52
10年	7.8	9.6	△ 1.8	3.6	2.5	35.0	7.9	4.8	1.49	1.48
11年	7.7	10.2	△ 2.5	3.5	2.3	34.2	6.3	4.7	1.55	1.45
12年	7.6	10.1	△ 2.5	2.6	1.1	32.6	4.2	4.8	1.62	1.45
13年	7.5	10.1	△ 2.5	3.0	1.9	34.2	5.5	4.9	1.87	1.40
14年	7.2	10.4	△ 3.2	2.4	1.5	38.0	6.5	4.5	1.89	1.37
15年	6.9	10.8	-3.9	4.0	2.1	33.8	6.4	4.5	1.85	1.31
16年	6.9	11.0	△ 4.1	2.4	1.9	37.3	6.1	4.4	1.76	1.30
17年	6.7	11.4	△ 4.7	2.2	1.0	31.1	4.7	4.3	1.63	1.34
18年	6.8	12.0	△ 5.2	2.7	1.4	32.8	5.9	4.2	1.68	1.34
19年	6.7	12.3	△ 5.6	1.9	1.1	25.8	4.0	4.0	1.70	1.31
20年	6.7	12.3	△ 5.6	2.7	1.6	27.4	5.4	4.1	1.65	1.32
21年	6.4	12.7	△ 6.3	2.4	0.7	26.4	4.7	4.0	1.56	1.29
22年	6.2	13.2	△ 7.0	2.2	0.9	26.4	6.5	4.0	1.66	1.31
23年	6.2	13.7	△ 7.4	2.3	0.8	28.0	4.0	3.8	1.45	1.35
24年	6.2	14.0	△ 7.8	1.7	0.9	25.5	4.1	3.8	1.41	1.37
25年	5.9	14.2	△ 8.3	1.6	0.3	23.6	3.1	3.7	1.42	1.35
26年	5.8	14.6	△ 8.8	2.5	1.0	26.8	5.5	3.7	1.40	1.34
27年	5.7	14.5	△ 8.8	0.7	0.2	21.7	2.9	3.5	1.50	1.35
28年	5.6	15.1	△ 9.5	2.3	1.1	22.9	4.6	3.5	1.38	1.39
29年	5.4	15.5	△ 10.1	3.3	2.2	19.6	4.1	3.3	1.38	1.35
30年	5.2	15.8	△ 10.6	2.6	1.8	22.3	4.5	3.1	1.27	1.33

(注) 率の算出は、乳児、新生児の死亡率は出生千対、周産期の死亡率は出産(出生+妊娠22週以後の死産)千対。死産率は出産(出生+死産)千対。その他は人口千対。

東北6県の状況

第6表の1 (人口動態指標)

(平成30年)

県名	出生率	合計特殊出生率	死亡率	乳児死亡率	周産期死亡率	婚姻率	離婚率
秋田	5.2	1.33	15.8	2.6	4.5	3.1	1.27
青森	6.2	1.43	14.3	1.9	2.9	3.8	1.61
岩手	6.2	1.41	14.1	3.0	4.2	3.6	1.49
宮城	7.1	1.30	10.7	2.1	3.1	4.5	1.59
山形	6.4	1.48	14.1	2.4	4.1	3.7	1.37
福島	6.8	1.53	13.4	2.2	3.9	4.2	1.67

第6表の2 (三大死因及び自殺による死亡)

(平成30年)

県名	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		自殺	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
秋田	4,147	424.0	2,091	213.8	1,541	157.6	199	20.3
青森	4,947	393.2	2,684	213.4	1,666	132.4	259	20.6
岩手	4,445	360.2	2,928	237.3	1,990	161.3	253	20.5
宮城	6,627	288.6	3,865	168.3	2,427	105.7	372	16.2
山形	3,905	360.6	2,328	215.0	1,485	137.1	196	18.1
福島	6,263	338.4	4,052	218.9	2,245	121.3	364	19.7

人口動態調査とは

1. 調査目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査期間 平成30年1月1日～平成30年12月31日
3. 調査方法 市町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

4. 用語の説明

自然増減：出生数から死亡数を減じたもの

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

* 自然死産と人工死産

人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児または付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。

なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。

(1) 胎児を出生させることを目的とした場合

(2) 母体内の胎児が生死不明か、または死亡している場合

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

5. 比率の解説

$$\begin{aligned} \text{出生率} &= \frac{\text{30年の出生数}}{\text{30年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \\ \text{合計特殊出生率} &= \left[\frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女性人口}} \right] \text{15歳から49歳までの合計} \\ \text{死亡率} &= \frac{\text{30年の死亡数}}{\text{30年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \text{（死因別は100,000）} \\ \text{自然増減率} &= \frac{\text{30年の自然増減数}}{\text{30年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \\ \text{死産率} &= \frac{\text{30年の死産数}}{\text{30年の出産数（出生数＋死産数）}} \times 1,000 \\ \text{婚姻率} &= \frac{\text{30年の婚姻届出件数}}{\text{30年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \\ \text{乳児死亡率} &= \frac{\text{30年の乳児死亡数}}{\text{30年の出生数}} \times 1,000 \\ \text{周産期死亡率} &= \frac{\text{30年の妊娠満22週以後の死産数＋早期新生児死亡数}}{\text{30年の出産数（出生数＋妊娠満22週以後の死産数）}} \times 1,000 \end{aligned}$$

6. 分母に用いた人口 秋田県 978千人

(総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課で推計。)